

血液・腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 日本における真性多血症および本態性血小板血症患者の臨床像、生命予後およびイベントリスクに関する多施設後方視的研究（日本血液学会疫学調査に基づく多施設共同後ろ向き観察研究）

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科 病院教授 伊藤 量基

《研究の目的》 わが国における骨髄増殖性腫瘍（myeloproliferative neoplasms:MPN）のうち 真性多血症（polycythemia vera:PV）、本態性血小板血症（essential thrombocythemia:ET）患者の臨床像、実臨床での治療実態を把握し、生存率、イベント発生率、およびその発症に影響を及ぼしたと考えられるリスク因子を調査すること。

《研究期間》 研究許可日～2020年09月30日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

骨髄増殖性腫瘍（真性多血症、本態性血小板血症）の患者さんで、2006年1月7日～2018年3月31日に当該施設を初診した20歳以上の患者さん

●研究に用いる情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）等

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

登録システムの作成、管理、維持にかかる費用は、日本血液学会が負担する。調査整理補助に伴う賃金、
切手代などの費用は、外部からの資金提供は受けず関西医科大学血液内科でまかなう

*御自身の情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者に御連絡ください。なおその場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは、全くございませんのでご安心ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 血液腫瘍内科 病院教授 伊藤 量基

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1 TEL：072-804-0101（内線：2505）